

# 東洋思想文化

道璿撰『註菩薩戒經』佚文集成

伊吹 敦 (160)

カトマンドウ盆地における生き神信仰  
—他宗教・多民族共存の象徴としての  
「ロイヤル・クマリ」—

山口しのぶ (119)

Payāga-patiṭṭhāna (103)

岩井 昌悟 (103)

王畿「蓬萊會籍申約」訳注  
—陽明門下の講会活動記録を読む(二)—

小路口 聡 (1)

東洋思想文化

(東洋大学文学部紀要第六十九集)

東洋思想文化学科篇Ⅲ (平成二十八年三月)

## EASTERN PHILOSOPHY AND CULTURE

Bulletin of the Faculty of Letters

Toyo University

No. 69

March, 2016

Series of

EASTERN PHILOSOPHY AND CULTURE

III

### CONTENTS

SHOJIGUCHI Satoshi : Japanese Translation and Notes of  
Wang Ji (王畿) 's "Penglai Huiji Shenyue (蓬萊會籍申約)"  
—Jing-hui (講会) Activity Recorded by Wang Yangming (王陽明)  
School (Part 1) ..... (1)

IWAI Shogo : On Payāga-patiṭṭhāna ..... (103)

YAMAGUCHI Shinobu : On the Living Goddess in Kathmandu Valley :  
Royal Kumari as a Symbol of Pluralism ..... (119)

IBUKI Atsushi : A Study of the Surviving Fragments of Dōsen's 道璿  
Commentary on the *Brahmā Net Sūtra* 梵網經 ..... (160)

東洋大学文学部紀要第69集

東洋思想文化学科篇

Ⅲ



Published by  
**TOYO UNIVERSITY**

Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo

東洋思想文化 第3号

(東洋大学文学部紀要 第69集)

平成二十八年二月二十八日 印刷

平成二十八年二月二十八日 發行

[非売品]

發行所 東洋大学文学部

東京都文京区白山五―二八―二〇

電話 東洋思想文化学科〇三三五四七三在

印刷 共立印刷株式会社

東京都杉並区和田一―一四―一三

電話 〇三―三三三八二―一二一

## 研究室報告

(講義)

「ヨーロッパに於ける仏教への関心」(十月十九日、「インド哲学仏教学演習B」)

「如浄禪師の風鈴頌一・二」(十月二十六日、十一月九日、「インド哲学仏教学演習B」)

「フランスにおける中国学—敦煌学を中心として」(十一月十日、「中国文学特講ⅡB」)

「草木国土悉皆成仏という思想の中国思想と日本思想の相違について」(十一月十六日、東洋思想文化学科合同演習)

「『方丈記』と『正法眼蔵』における三界唯心」(十月二十日、伊吹敦教授および渡辺章悟教授の大学院演習合同授業)

(講演、いずれも文学部全学生を対象とする)

「ヨーロッパに於ける仏教への関心」(十月二十一日三限、六三二〇教室)

「エミール・ギメの時代の仏教と宗教学」(十月二十八日三限、六三二〇教室)

「道元と鴨長明の三界唯心」(十一月四日三限、六三二〇教室)

「明恵の夢想」(十一月五日四限、六三二四教室)

④ 本年度、大学院(インド哲学仏教学専攻)の公開研究発表会を、春学期(六月二十四日)と秋学期(十一月二十五日)

に開催した。春学期は越後屋正行(D3)、園田沙弥佳(D3)、崎山忠道(M2)、山崎一穂(日本学術振興会特別研究

① 昨年度と同様、今年度も新入生歓迎行事として四月二十六日に「新入生研修旅行」を行い、群馬県足利市の足利学校および鑊阿寺(真言宗)を見学した。前者は近世の朱子学の教育機関、また後者は十二世紀に建立された真言宗大日派の古刹である。現地では足利学校関係者および足利市ボランティアの方々のご協力を得、足利学校および鑊阿寺の歴史的背景や各施設などについて説明、案内をいただいた。東洋思想文化学科一年生のガイダンスとして実り多い見学会となり、また学生相互あるいは教員との交流を深めることができた。関係各位には厚く御礼申し上げます。

② 九月二十六日には「東洋大学文学部伝統文化講座」の一環として、東洋思想文化学科主催、東洋大学仏教会・同仏教青年会協力にて、真言宗豊山派迦陵頻伽聲明研究会による聲明公演「日本古典音楽の源流—弘法大師御影供—中曲理趣三昧—」(本学井上円了ホール、十六時四十五分—十七時四十五分)を開催した。出演者の皆様には厚く御礼申し上げます。

③ 本年度、東洋大学短期海外招聘教授制度により、フランス国立極東学院教授のフレデリック・レネ・ロバート・ジラー氏をお招きし、講義および講演をいただいた。詳細は以下の通りである。

員)による研究発表、ならびに塚越悠貴、松田正、福島幸夫、針貝京子、通然、甘沁鑫の大学院新入生、特別研究学生による研究計画発表があった。秋学期は、田口なみ(M2)、プラマハ・バンジエット(M2)、鈴木伸幸(M2)、藤井明(D1)、甘沁鑫(特別研究学生)の研究発表があった。

また両発表大会に先立ち、学外講師をお招きし御講演会戴いた。各大会の講師名、所属、講演テーマは以下の通りである。

(春学期発表大会) 佐久間秀範氏(筑波大学人文社会系教授)  
「唯識というものの見方」

(秋学期発表大会) 山部能宜氏(早稲田大学文学部教授)「石窟と禅観」

両先生には厚く御礼申し上げます。

⑤ 本年度のティーチングアシスタントは、志村敦弘、尾上海、盛田綾希、堤博枝、黒田祐介、鈴木伸幸、田口なみの各氏が担当した。

⑥ 本年度の卒業論文・制作の提出者は、インド哲学科ではI部が四十一名、II部が十名であり、中国哲学文学科では三十六名、大学院の修士論文提出者はインド哲学文学専攻では四名、中国哲学専攻では一名であった。本年度の優秀論文に対する褒賞は左記の通りである。

・校友会奨学基金

学部(インド哲学科) 是松宏明(I部)、星宮康子(II部)

(中国哲学文学科) 石川美恵

大学院(インド哲学仏教学専攻) 鈴木伸幸

(中国哲学専攻) 該当者なし

・勸学奨学基金

学部(インド哲学科) 西島実希(I部)、平野玲子(II部)

(中国哲学文学科) 豊田尚徳

・田村芳朗奨学基金(インド哲学科)

学部 高木洋介(I部)

大学院 田口なみ、プラマハ・バンジエット

二〇一五年度業績（二〇一五年一月～十二月）

伊吹 敦

○研究活動

〈論文〉

「奈良時代における禅宗の流布と伝教大師最澄への影響」〔観山学院叢報〕第四〇号、二〇一五年二月二十日、一〇～三〇頁

「日本の古文獻から見た中国初期禅宗—大安寺道瑤の『集註梵網經』を中心に」〔『東洋思想文化』〕第二号、二〇一五年三月三十日、三七～五八頁

「聖徳太子慧思後身説の変化とその意味」〔『東洋學研究』〕第五二号、二〇一五年三月三十一日、四四八～四七二頁

「神秀得度受戒年代考」〔『佛教文化研究』〕第一輯、鳳凰傳媒股份有限公司・江蘇人民出版社（南京）、二〇一五年四月、二五六～二七五頁；『禪文化研究所紀要』第三十一号所載論文の中国語訳

Vinaya and the Chan School : Hinayāna precepts and bodhisattva precepts, Buddhism in the city and Buddhism in the mountains, religion and the state. (Translated by Eric M. Greene, *Studies in Chinese Religions*, 1, the Institute for World Religions at the Chinese Academy of Social

Sciences and the Taylor & Francis Group (Routledge), pp.105-130, 05 Jun 2015)

「最澄と聖徳太子慧思後身説」〔大久保良峻先生還暦記念論文集刊行会「天台・真言 諸宗論攷」大久保良峻先生還暦記念論文集、山喜房佛書林、二〇一五年十二月二十五日、ページ数未定〕

〈その他〉

「文化の爛熟と禪（上） 要説・中国禅思想史 四一」〔『禅文化』〕三三五、二〇一五年一月二十五日、一二三～一三〇頁

「文化の爛熟と禪（中） 要説・中国禅思想史 四二」〔『禅文化』〕一三七、二〇一五年七月二十五日、九五～一〇四頁

「文化の爛熟と禪（下） 要説・中国禅思想史 四三」〔『禅文化』〕一三八、二〇一五年一月二十五日、一二四～一三三頁

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本佛教学会（理事）／日・韓・中国際仏教学術大会（幹事・編集委員）／東アジア仏教研究会（役員）／日本印度学仏教学会（会員）／早稲田大学東洋哲学会（会員）

学会発表等

「初期禅宗と『大乘起信論』」〔二〇一五年六月十九日、東アジア仏教学術大会第四回学術大会、扶余・百濟歴史文化館〕

「『観心論』と『修心要論』の成立とその影響」〔二〇一五年十一月二十八日、第八六回禅学研究会学術大会、花園大学・

裁松館三階大会議室)

〈研究プロジェクトへの参加〉

東洋大学東洋学研究所プロジェクト「世界の諸地域における仏

教の哲学的社会学的研究」研究代表者

東洋大学東洋学研究所プロジェクト「仏教思想に見る日本・中

国・韓国の共通性と差異」研究代表者

東洋大学国際哲学研究センター(センター長・村上勝三「東洋

大学」第一ユニット研究員

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・インド学仏教学演習⑦(Ⅰ部、通年)

中国仏教のあゆみA(Ⅰ・Ⅱ部、春学期)

中国仏教のあゆみB(Ⅰ・Ⅱ部、秋学期)

仏教文献を読むA(Ⅰ部、春学期)

仏教文献を読むB(Ⅰ部、秋学期)

禅の思想(Ⅱ部、春学期)

天台の思想(Ⅱ部、秋学期)

東洋思想文化への誘いA(Ⅰ部・Ⅱ部、春学期)二回

担当

「中国仏教入門」(七月八日、一時限/七月四日、七時

限)

東洋思想文化への誘いB(Ⅰ部・Ⅱ部、秋学期)二回

担当

「禅思想入門」(十一月四日、一時限/一月九日、六時  
限)

東洋の身体論(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、春学期)一回担当

「修行と悟り―禅は心と体をどう見るか」(六月三日、

七時限)

近代化と東洋(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋学期)四回担当

「中国の近代化と仏教」(十月七日、七時限)

「近代における禅の再発見―鈴木大拙、胡適、和辻哲

郎―」(十二月十六日)

宗教をめぐる諸問題A(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、春学期)

二回担当

「中国仏教とは何か」(六月二十七日、六時限)

「中国仏教における聖者」(六月二十八日、六時限)

総合ⅧB1(校友会寄附講座、Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋

学期)一回担当

「哲学館の後継者たちの活躍―境野黄洋、高嶋米峰な

ど」(十一月七日、五時限)

全学総合IA1(Ⅰ部、春学期)一回担当

「修行と悟り―禅は「こころ」と「からだ」をどうみ

るか―」(六月十一日、五時限)

大学院・中国仏教研究Ⅰ・仏教学研究指導Ⅳ(前期課程)

仏教学特殊研究Ⅲ・仏教学研究指導Ⅳ(後期課程)

〈学外担当科目〉

「東洋哲学特殊問題3」(春学期、早稲田大学文学研究科)

「東洋哲学特殊問題4」(秋学期、早稲田大学文学研究科)

「インド哲学仏教学特殊講義・中国禪文献講読」(秋学期、東京

大学文学部・人文社会系研究科)

○大学管理運営活動

文学部内自己点検・評価委員、東洋大学東洋学研究所所長、東

洋大学国際哲学研究センター研究員

○社会的活動

講演「ブッダから禅へ―仏教の本質と意義」(二〇一五年十一

月七日、哲学堂祭記念講演、哲学堂公園内宇宙館)

(公益財団法人) 中村元東方研究所兼任研究員

岩井 昌悟

○研究活動

〈論文〉

「井上円了の教育と仏教―教育は勸語に基づき、宗教は仏教を

取る―」(単著、『国際井上円了研究』第三号、二〇一五年三

月三十一日、一二二―一二三頁)

〈学会発表等〉

「不邪淫戒再考―風俗通いは許される?」(日本印度学仏教学会

第六六回学術大会、九月十九日、高野山大学)

学会参加

日本印度学仏教学会第六六回学術大会(高野山大学)に参加、  
二〇一五年九月十九日～九月二十日

所属学会ならびに役職

日本印度学仏教学会(会員) / 日本宗教学会(会員) / 日本

佛教学会(会員) / 仏教思想学会(会員) / パーリ学仏教文

化学会(普通会員)、日本チベット学会(会員) / 国際井上

円了学会(理事・副会長)

〈研究プロジェクトへの参加〉

東洋大学東洋学研究所プロジェクト「仏教思想に見る日本・中

国・韓国の共通性と差異」の研究分担者

「般若経の教理・儀礼・実践の総合的研究」(東洋大学東洋学研

究所プロジェクト、研究分担者)

「八千頌般若」のデータベースと言語索引の構築」(科学研究

費助成(基盤研究C) 研究分担者)

「インドの死生観の研究―聖典・聖地・都市構造にみるインド

の死生観―」(東洋大学東洋学研究所プロジェクト・井上円

了研究助成二〇一三年度～二〇一五年度研究分担者)

東洋大学国際哲学研究センター(センター長・村上勝三「東洋

大学」第一ユニット長

○教育活動

〈学内担当科目〉

学 部：インド学仏教学演習⑤ (I部)

インド仏教史A・B (I・II部)

初期仏教の思想（Ⅱ部）

東洋芸術文化特講ⅣA（Ⅰ部）

レポート・論文制作の技法A（Ⅰ部）

宗教をめぐる諸問題A・B（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）コー

ディネーター

「初期仏教とは何か」（四月十八日、六時限）

「初期仏教における聖者」（四月二十五日、六時限）

東洋思想文化への誘いA（Ⅰ部・Ⅱ部、春学期）二回  
担当

「初期仏教入門―ニカーヤ・阿含・律」（五月二十七日、

一時限／五月二十三日、六時限）

東洋思想文化への誘いB（Ⅰ部・Ⅱ部、秋学期）二回  
担当

「初期仏教入門―アビダルマ」（十月十四日、一時限／

十月十七日、七時限）

東洋の身体論（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）一回担当

「仏教の身体論」（五月二十日、七時限）

総合ⅧA1（校友会寄附講座、Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、春  
学期）二回担当

「日本をどう考えるのか―井上円了の忠と孝」（五月

十六日、五時限）

「井上円了の教育と仏教―教育は勸語に基づき、宗教  
は仏教を取る」（六月十三日、五時限）

全学総合ⅠA一回担当

「初期仏教における正義と自由」（七月十六日、五時限）

大学院・初期仏教研究Ⅰ・仏教学研究指導Ⅲ（前期課程）

仏教学特殊研究Ⅳ・仏教学研究指導Ⅲ（後期課程）

○大学管理運営活動

井上円了研究センター運営委員会委員／東洋大学東洋学研究所

研究員・運営委員／東洋大学国際哲学研究センター第一ユ

ニット長

川崎 ミチコ

○研究活動

〈論文〉

〈敬惜字紙について―森島中良・瀧澤馬琴の敬惜字紙―〉『東洋

思想文化』（東洋大学文学部紀要第六十八集 東洋思想文化

学科篇Ⅱ・二〇一五年二月二十八日、一四〇―一五八頁）

〈学大会活動〉

所属学会ならびに役職

○教育活動  
仏教史学会（会員）・日本中国学会（会員）・道教学会（理事）

〈学内担当科目〉

学部・中国文学特講Ⅱ①（Ⅰ部）

中国文学演習Ⅲ①・中国文学講読①（Ⅰ部）

中国文献読解法（Ⅰ部）



中国文献学概論（Ⅰ部）

レポート・論文制作の技法（Ⅱ部）

漢文訓読法（Ⅱ部）

中国の古典（『史記』Ⅱ部春学期・『孟子』Ⅱ部秋学期）

東洋思想文化への誘いA（Ⅰ部・Ⅱ部、春学期）二回

担当

「敦煌学入門1—敦煌文献とは何？」（六月十七日、

一時限／六月二十日、七時限）

東洋思想文化への誘いB（Ⅰ部・Ⅱ部、秋学期）二回

担当

「敦煌学入門2—王思想文献を中心に」（十一月

十一日、一時限／十一月二十一日、七時限）

○大学管理運営活動

図書館運営委員会委員・障がい学生支援委員会委員・図書館図

書選書担当（学部内）

東洋大学東洋学研究所研究員・東洋大学アジア文化研究所研究

員

○社会的活動

東洋大学附属図書館公開展示「旅に出よう！—むかしむかしの

旅から現代のたびものがたり—」・「あの世への旅」展示資料

解説及びミニ講座担当（二〇一五年十一月十日・於一二五記

念ホール）

坂井 多穂子

○研究活動

〈著書〉

・「越境する哲学——体系と方法を求めて」（共著、村上勝三  
主編。「第2部 方法による越境の試みとクロスセクション  
の技法」の中の、「中国古典文学の場合」を執筆。一七一—

一八二頁 春風社 二〇一五年二月）

・「エコ・ファンタジー——環境への感度を拡張するために」  
（共著、山田利明・河本英夫編著。「Ⅲ 文化的環境」の中の、  
「城外に詠う詩人——中国の山水田園詩」を執筆。一八五—

一九六頁 春風社 二〇一五年九月）

〈その他〉

・「近代詩の作法——分類詩集・詩語・詩格書」（『南宋江湖

の詩人たち 中国近世文学の夜明け』勉誠出版 アジア遊学

一八〇—一五四—一五九頁 二〇一五年三月）

・「中華文人のユーモア——抒情を壊す詩人」（『改革者』二月

号 四八—四九頁 二〇一五年二月 政策研究フォーラム）

〈講演・学会発表〉

・講演「香と文人」（エコ・フィロソフィ学際研究イニシアティ

ブ主催 最終シンポジウム 二〇一五年二月五日）

・講演「唐宋士大夫と滑稽——以白居易、梅堯臣、周紫芝

为中心」（中国南京大学仙林校区 二〇一五年九月九日）

・「方法の越境性、あるいは越境の方法」検討会（村上勝三・

沼田一郎・坂井多穂子 東洋大学国際哲学研究センター第二  
ユニット第三回「方法論」研究会 二〇一五年二月一七日

〈コーディネーター・司会〉

・ 日本宋代文学学会「第二回大会」開催（東洋大学白山キャン  
パス「スカイホール」二〇一五年五月三〇日）

〈調査活動〉

・ 中国江蘇省南京市・常州市への唐宋旧跡調査（東洋学研究所  
プロジェクト予算による。二〇一五年九月七日～同月一二  
日）

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本中国学会（大会委員会委員）／中唐文学会（会員）／日  
本宋代文学学会（評議員）／白山中国学会（会計委員・理事）  
〈研究プロジェクトへの参加〉

東洋大学国際哲学研究センター（センター長・村上勝三「東洋  
大学」第二ユニット研究員・運営委員）

東洋大学「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブ  
（TEPPh）自然観探求ユニット研究員

東洋大学東洋学研究所プロジェクト「日本、モンゴル、インド、  
中国における共生的精神文化の諸相」（研究代表者：山崎甲一）  
研究分担者

○教育活動

〈学内担当科目〉

学 部：基礎中国語A B（I部・II部）

中国語I C・I D

中国文学演習II

東洋思想文化演習II A B

中国文学演習III

中国文学講読A B

中国学研究法A B（I部・II部）

中国文学特講II A B

漢文訓読法（I部）

東洋思想文化への誘いA（I部・II部、春学期）二回  
担当

「唐代文学入門―ロマンチストの李白とリアリストの

杜甫」（六月二十四日、一時限／六月一三日、七時限）

東洋思想文化への誘いB（I部・II部、秋学期）二回  
担当

「宋代文学入門―楽天家の蘇軾と愛妻家の陸游」（十月

二二日、一限／十月二四日、七時限）

東洋の身体論（I・II部乗り入れ）一回担当

「中国文学と身体―纏足にみる女性観」（四月二三日、  
七時限）

全学総合講義「哲学への誘い」一回担当

「こころと身体④ 纏足にみる女性観」(六月一八日、五時限)

大学院・中国哲学研究指導Ⅰ(博士前期課程)

中国文学特論Ⅱ(博士前期課程)

中国語学研究Ⅱ(博士前期課程)

中国哲学特殊研究Ⅳ(博士後期課程)

○大学管理運営活動

全学入試委員会委員／文学部外国語委員会委員／東洋大学東洋学研究所研究員／東洋大学アジア文化研究所研究員／東洋大学「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブ(TIEPA)研究員／東洋大学国際哲学研究センター運営委員・研究員

小路口 聡

○研究活動

〈翻訳〉

『王畿』龍溪王先生会語』訳注 其十九 『白山中国学』通巻

二一号 二〇一五年三月 三五―六五頁 \*吉田公平・早坂

俊廣・鶴成久章・内田健太と共著

『王畿』龍溪王先生会語』訳注 其二〇 『東洋古典學研究』

第四〇集 二〇一五年十月 五一―七八頁 \*吉田公平・早

坂俊廣・鶴成久章・内田健太と共著

〈学会発表等〉

「王畿の良知心学と講学活動——「交脩の益」について——」(科

研究成果発表国際シンポジウム「王畿の良知心学と明末の講学活動」、東洋大学、二〇一五年八月二三日)

「江戸期における漢学者たちの人間観の特色——中国との比較

——」(東洋大学国際哲学研究センター第一ユニット研究会・

ワークショップ 二〇一五年八月二十六日 司会)

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本中国学会(会員)、白山中国学会(理事・編集委員)、中

国史哲研究会(会員)、東洋古典學研究会(会員)、国際井

上円了学会(会員)、

〈研究プロジェクトへの参加〉

「王畿の良知心学と明末の講学活動に関する発展的研究」(文科

省科学研究費「基盤研究(C)」研究代表者

東洋大学国際哲学研究センター(センター長・村上勝三「東洋

大学」第一ユニット研究員・運営委員

○教育活動

〈学内担当科目〉

学 部・東洋思想文化演習Ⅰ⑩A B／中国哲学演習Ⅰ①(Ⅰ部)

中国学概論A B(Ⅰ部・Ⅱ部)

中国哲学特講A B(Ⅰ部)

中国哲学研究法(Ⅰ部)

東洋思想文化への誘いA(Ⅰ部・Ⅱ部、春学期)Ⅰ部

代表

「ガイドンス説明 コース説明（中国）」（I部 四月九日、一時限／II部 四月二十日六時限）

「儒教思想入門——人間の本性は善か、悪か？」（I部 日、一時限／II部 七月十五日、六時限）

東洋思想文化への誘いB（I部・II部、秋学期）I部 代表

「ガイドンス」（I部 九月二十四日、一時限）

「朱子学入門——聖人、学んで至るべし」（I部 十一月二十五日、一時限／II部 十二月五日、六時限）

東洋の身体論（I・II部乗り入れ）一回担当

「儒教の身体論」（六月十七日、七時限）

大学院：中国哲学特論Ⅲ（博士前期課程）

中国哲学演習Ⅱ（博士前期課程）

中国哲学研究指導Ⅲ（博士前期課程）

中国哲学特殊研究Ⅲ（博士後期課程）

中国哲学研究指導Ⅲ（博士後期課程）

○大学管理運営活動

第一部東洋思想文化学科長／東洋大学東洋学研究所研究員／東

洋大学国際哲学研究センター研究員

沼田 一郎

○研究活動

〈論文〉

「インド古代法の場合」単著、村上勝三編『越境する哲学』春風社二〇一五年十一月三〇日、一五九―一七〇頁

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本南アジア学会（会員・英文叢書委員会委員）／日本印度学仏教学会（評議員・会員）／日本佛教学会（会員）／アジア法学会（会員）／国際井上田了学会（会員）／

研究発表・シンポジウム・講演・特別講義

「インド宗教に見る〈共生〉の歴史と可能性」（東洋大学東洋学研究所研究発表会、二〇一五年二月五日、東洋大学白山キャンパス）

〈研究・調査活動〉

〈研究プロジェクトへの参加〉

東洋大学国際哲学研究センター（センター長・村上勝三〔東洋大学〕 運営委員・第二ユニット長・研究員

東洋大学東洋学研究所研究プロジェクト「インドの死生観の研究

究―聖典・聖地・都市構造にみるインドの死生観」研究分担者

東洋大学東洋学研究所研究プロジェクト「日本、モンゴル、イ

ンド、中国における共生的精神文化の諸相」研究分担者

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・サンスクリット文献を読むA・B（I部・II部）

古代インドの社会（I部・II部）

インド学仏教学演習①（I部）

インド古典哲学（I部・II部）

日本の宗教を歩く（集中講義）

東洋思想文化への誘いA（I部・II部、春学期）一回

担当

「インド思想入門I」（四月二十二日、一時限／四月

二十五日、七時限）

東洋思想文化への誘いB（I部・II部、秋学期）一回

担当

「インド社会論入門―カースト社会の在家と出家」（二

月六日、一時限／一月二六日、七時限）

東洋の身体論（I・II部乗り入れ）一回担当

「インド哲学における身体観」（四月一日、七時限）

近代化と東洋（I・II部乗り入れ）一回担当

「近代化とインドの伝統思想」（九月三〇日、七時限）

宗教をめぐる諸問題（I・II部乗り入れ）一回担当

「ゾロアスター教における聖者」（六月二〇日、六時限）

全学総合IA一回担当

「古代インドにおける実践倫理」（七月九日）

総合ⅧA 日本の近代化と東洋大学―井上円了の哲学

と実践―（校友会寄附講座）「第九回 井上円了の

外道哲学―日本のインド学の曙―」（二〇一四年

六月十三日）

大学院・インド哲学研究I・インド哲学研究指導II（前期課程）

インド哲学特殊研究III・インド哲学研究指導III（後期

課程）

〈学外担当科目〉

「インド学各論」（集中講義、東北大学文学部）

○大学管理運営活動

第II部東洋思想文化学科長／東洋大学東洋学研究所研究員・運

営委員／東洋大学東洋学研究所『東洋学研究』編集委員／国

際哲学研究センター運営委員・研究員

○社会的活動

模擬講義

出張講義『「夢ナビライブ」にて模擬講義』（二〇一五年七月

十一日 東京ビッグサイト）

野間 信幸

○研究活動

〈著書（翻訳書）〉

『台湾新文学史』上・下巻（陳芳明著）、東方書店、（共訳、

二〇一五年十二月十五日、上巻一～一八六頁、下巻「解説」

四二四～四三二頁・「索引」（共訳者との共同作業）全七三頁）

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本中国学会（会員）／日本台湾学会（学会報編集委員）／  
天理台湾学会（理事）／日本現代中国学会（会員）／白山中  
国学会（会長）／中国文哲研究会（会員）

学会活動・参加等

東洋大学アジア文化研究所（平成二六年度）第二二回公開研  
究例会

王淨華（華中科技大学外国語学院）講師による講演「中国に  
おける日本文学教育の現状と課題——華中科技大学を事例と  
して」の司会

白山中国学会第八回発表大会（東洋大学、二〇一五年三月  
二十一日）

日本台湾学会第一七回学術大会（東北大学、二〇一五年五月  
二十三日）

白山中国学会第九回発表大会（東洋大学、二〇一五年七月  
二十五日）

天理台湾学会第二五回記念研究大会（天理大学、二〇一五年  
六月二十八日）

簡中吳氏研究発表「坂口禰子の台湾経験とその「蕃地」作品  
への試論」の司会

『日本台湾学会報』第十七号（二〇一五年九月三十日刊）編

集委員

○教育活動

〈学内担当科目〉

学 部：中国文学史（Ⅰ部・Ⅱ部）

中国文学演習Ⅰ（Ⅰ部・Ⅱ部）

中国文学特講Ⅰ（Ⅰ部・Ⅱ部）

総合ⅣB（校友会寄附講座、Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋学  
期）一回担当

「円丁の台湾巡講——南船北馬2（台湾巡講）」十月十七  
日

東洋思想文化への誘いA（Ⅰ部・Ⅱ部、春学期）二回  
担当

「中国文学入門——中国語と中国文学の深い関係」（五月  
二十日、一時限／五月十六日、七時限）

東洋思想文化への誘いB（Ⅰ部・Ⅱ部、秋学期）二回  
担当

「中国現代文学入門——近代文化人の傷痕」（十月二十八  
日、一時限／十一月七日、七時限）

近代化と東洋（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋学期）一回担当  
「近現代台湾文学作家の『学歴』形成——張文環と鍾

理和」（十一月十八日、七時限）

大学院：中国文学特論Ⅰ・中国哲学研究指導Ⅱ・中国語学研究

Ⅰ（前期課程）

中国哲学特殊研究Ⅰ・中国哲学研究指導Ⅰ（後期課程）  
学が LIVE「クイズで解き知る中国学の基礎知識」  
中国を学ぶ第一歩」（六月二十一日）

○大学管理運営活動

大学院中国哲学専攻長／文学部入試委員会委員／東洋大学アジ

ア文化研究所研究員

○社会的活動

「リレーコラム」執筆『自立への道』第十二号（東洋大学就職・

キャリア支援部）

アジアセンター21維持会員

橋本 泰元

○研究活動

〈論文〉

「スイク教祖ナーナクの神観念」（単著、『東洋思想文化』第

二号）〔東洋大学文学部紀要〕第六八集、二〇一五年二月

二十八日、一一六～一三九頁）

「インド中世民衆思想における死生観―スイク教祖ナーナクの

場合―」（単著、『東洋学研究』第五二号、二〇一五年三月、

二四七～二五九頁）

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本印度学佛教学会（理事）／日本宗教学会（会員）／日本

南アジア学会（会員）／日本佛教学会（会員）

〈研究プロジェクトへの参加〉

「インドの死生観の研究―聖典・聖地・都市構造にみるインド

の死生観―」（東洋大学東洋学研究所プロジェクト・井上円

了研究助成二〇一三年度～二〇一五年度研究代表者）

「多言語重層構造をなすインド文学史の先端的分析法と新記述」

（二〇一三年度科学研究費補助金「基盤研究（A）」研究代表

者・水野善文「東京外国語大学」連携研究者）

東洋大学国際哲学研究センター（センター長・村上勝三「東洋

大学」第三ユニット研究員

〈調査活動〉

インド・ヴリンダーヴァン市のクリシユナ信仰諸派の死生観の

実地調査（東洋学研究所プロジェクト、一〇月三十日～十一

月六日）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学 部・ヒンドゥー教概論 A・B（Ⅰ・Ⅱ部）

ヒンディー語 A・B（Ⅰ部）

インド学仏教学演習③（Ⅰ部）

仏教の芸能（秋学期、コーディネーター）（Ⅱ部）

宗教をめぐる諸問題 A・B（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）

「ヒンドゥー教における聖者②（中世）」（十一月

二十一日、六時限）

「スイク教と聖者」(十一月二十八日、六時限)

東洋思想文化への誘いA (I部・II部、春学期) 二回  
担当

「二大叙事詩にみる人間観」(四月二十九日、一時限) /  
五月二日、七時限)

東洋思想文化への誘いB (I部・II部、秋学期) 二回  
担当

「ヒンドゥー教入門―その根本思想とは?」(十一月四  
日、一時限/十一月十四日、七時限)

文学部伝統文化講座「聲明講演」(九月二十六日主催)  
総合ⅧB1 (校友会寄附講座、I・II部乗り入れ、秋  
学期) 一回担当

「哲学館初期のカリキュラムの特色―哲学を如何に  
教育するのか」(七月十一日、五時限)

大学院・インド哲学研究Ⅱ・インド哲学研究指導Ⅲ (前期課程)  
インド哲学特殊研究Ⅱ・インド哲学研究指導Ⅱ (後期  
課程)

〈学外担当科目〉

大正大学学部・ヒンディー語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ (総合)

○大学管理運営活動

文学部グローバル化推進委員会委員長/自然科学委員会委員/

東洋大学東洋学研究所研究員・運営委員/東洋大学国際哲学  
研究センター研究員

○社会的活動

団体役員等

(特財) 大法輪石原育英会評議員

水谷 香奈

○研究活動

〈論文〉

「阿弥陀信仰と弥勒信仰の対立とその背景―基撰『観弥勒菩薩  
上生兜率天経賛』を中心にして―」(単著、『東アジア仏教学  
術論集』第三号、二〇一五年二月、一五九頁〜一八二頁)

「基撰とされる『成唯識論別抄』について」(単著、『印度学仏  
教学研究』第六三卷二号、二〇一五年三月、一九五〜一九九  
頁)

「基撰『大般若経理趣分述讚』の思想と日本の密教文献への影響」  
(単著、『東洋学研究』第五二号、二〇一五年三月、二二九頁  
〜一四〇頁)

「道倫(通倫)集撰『瑜伽論記』について―基撰『瑜伽論略纂』  
との関係から」(単著、『印度学仏教学研究』第六四卷一号、  
二〇一五年十二月、一八六〜一九一頁)

〈学会発表〉

「道倫(通倫)集撰『瑜伽論記』について―基撰『瑜伽論略纂』  
との関係から―」(日本印度学仏教学会第六六回学術大会、  
二〇一五年九月十九日、高野山大学)



「『瑜伽師地論略纂』と『瑜伽論記』の成立について」(東洋大  
学東洋学研究所研究発表例会、二〇一五年十月十七日、東洋  
大学白山キャンパス)

〈その他〉

韓国語の論文二本および論評二本を翻訳した。

日本印度学仏教学会第六六回学術大会(高野山大学、二〇一五  
年九月十九日～九月二十日)にて日本印度学仏教学会賞を受  
賞。

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本印度学仏教学会(会員)／仏教思想学会(会員)／日本  
宗教学会(会員)／東アジア仏教研究会(会員)

〈研究プロジェクトへの参加〉

東洋大学東洋学研究所プロジェクト「世界の諸地域における仏  
教の哲学的社会学的研究」(研究代表者伊吹敦) 研究分担者

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・インド学仏教学演習(Ⅱ部、通年)

日本仏教のあゆみA(Ⅰ部、春学期)

日本仏教のあゆみB(Ⅰ部、秋学期)

大乘仏教の思想Ⅱ(Ⅱ部、春学期)

念仏の思想(Ⅱ部、秋学期)

東洋の身体論(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、春学期) 運営責任

者・三回担当

「はじめに」(四月八日、七時限)

「浄土思想と身体」(六月十日、七時限)

「まとめ」(七月二十三日、七時限)

近代化と東洋(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋学期) 運営責任

者・三回担当

「はじめに」(九月二十三日、七時限)

「日本仏教の近代化―井上円了『仏教活論序説』を中

心に―」(十一月十一日、七時限)

「まとめ」(一月十三日、七時限)

東洋思想文化への誘いA(Ⅰ部・Ⅱ部、春学期) 二回

担当

「日本仏教入門1―日本仏教の歴史を学ぶ」(七月一日、

一時限)／六月二十七日、七時限)

東洋思想文化への誘いB(Ⅰ部・Ⅱ部、秋学期) 二回

担当

「日本仏教入門2―日本仏教の特色を学ぶ」(十二月

十六日、一時限)／十一月二十八日、七時限)

宗教をめぐる諸問題A・B(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ) 二回

担当

「日本仏教とは何か」(五月二十三日、六時限)

「日本仏教における聖者」(六月十三日、六時限)

○大学管理運営活動

東洋大学東洋学研究所研究員

山口 しのぶ

○研究活動

〈論文〉

「バリ・ヒンドゥー教の人生儀礼」『東洋思想文化』第二号(単著、

『東洋大学文学部紀要』第六八集)二〇一五年二月二十八日、  
九四～一二五頁)

〈著書〉

「9-2. 師マンダラ供養」『ネパール密教』(立川武蔵編著、  
春秋社、二〇一五年十二月十八日、一三四～一三七頁)

「9-3. ガターン・ムガ」『ネパール密教』(立川武蔵編著、  
春秋社、二〇一五年十二月十八日、一三八～一四一頁)

〈報告・その他〉

「ネパールの人々と仏教―大地震発生の報道に思う」『在家仏教』

七月号(Vol. 七五五、在家仏教協会、二〇一五年七月一  
日、九～一二頁)

〈口頭発表〉

「インドネシア、バリ島におけるヒンドゥー教の通過儀礼につ  
いて―生後3ヶ月の儀礼を中心として―」(日本印度学仏教  
学会第六六回学術大会、高野山大学、二〇一五年九月十九日)

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本印度学仏教学会(会員) / 日本宗教学会(会員) / 南ア

ジア学会(和文雑誌編集委員・会員) / 日本佛教学会(会員)

/ 日本西蔵学会(会員) / 密教図像学会(会員) / 東海印度

学仏教学会(会員)

〈研究プロジェクトへの参加〉

東洋大学東洋学研究所プロジェクト「世界の諸地域における仏  
教の哲学的・社会的・研究分担者(研究代表者伊吹敦)

東洋大学東洋学研究所プロジェクト「般若経の教理・儀礼・実

践の総合的研究」研究分担者(研究代表者渡辺章悟)

東洋大学国際哲学研究センター(第三ユニット研究員)

〈調査活動〉

インドネシア、バリ島における宗教儀礼・図像の実態調査(八  
月六日～八月十四日)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学 部：卒論指導⑧(Ⅰ部)

東洋思想文化演習Ⅰ⑧(Ⅰ部)

東洋思想文化演習Ⅰ③(Ⅱ部)

東洋思想文化演習Ⅱ⑧(Ⅰ部)

東洋思想文化演習Ⅱ③(Ⅱ部)

インド学仏教学演習Ⅱ⑧(Ⅰ部)

チベット語A・B (I部)

東洋思想文化への誘いA (I部・II部、春学期)

「東洋芸術文化入門Ⅰ―仏教・ヒンドゥー教の美術」(六月六日、六時限/六月十日、一時限)

東洋思想文化への誘いB (I部・II部、秋学期) 一回担当

「東洋芸術文化入門2―東南アジアの芸術文化」(十二月二日、一時限/十二月十二日、六時限)

チベット仏教のあゆみ (I部、II部)

インド・仏教の美術A・B (I部)

総合ⅢB 「東洋大学井上円了哲学塾」哲学基礎講座・実践哲学講座」(I・II部乗り入れ)

「インドの哲学と現代社会」(十月十日、五時限)

近代化と東洋 (I・II部乗り入れ、秋学期) 一回担当

「近代化とチベット」(十月十四日、七時限)

宗教をめぐる諸問題A・B (I・II部乗り入れ)

「チベット仏教とは何か」(十一月七日、六時限)

「チベット仏教における聖者」(十一月十四日、六時限)

総合ⅣB 1 (校友会寄附講座) 一回担当

「日本の近代化と東洋大学―井上円了の哲学と実践―」(I・II部乗り入れ「哲学館からチベットへ―

明治の取経僧・河口慧海と能海寛」十一月十四日、

五時限)

全学総合IA1「哲学への誘い」(I・II部乗り入れ)

一回担当

「世界と自己―密教のマンダラにおける世界と自己」(五月二十一日)

大学院…インド仏教研究ⅣA・B、仏教学研究指導ⅡA・B (前期課程)

仏教学特殊研究ⅡA・B、仏教学研究指導ⅡA・B (後期課程)

○大学管理運営活動

東洋大学総合科目運営委員会委員/東洋大学文学部予算委員会委員

員/東洋大学東洋学研究所研究員/東洋大学アジア文化研究所研究員/東洋大学国際哲学研究センター研究員

○社会的活動

東洋大学井上円了哲学塾コーディネーター(九月二十七日)

十二月二十日、東洋大学白山キャンパス)

山田 利明

○研究活動

〈共編著〉

『エコ・ファンタジー』(河本英夫と共編・春風社・二〇一五年

四月)

〈論文〉

「火で浣う布―火浣布始末―」(『國學院中国学会報』六〇輯・

二〇一五年一月)

〈書評〉

三浦国雄編『術の思想―醫・養生・呪・交霊・風水―』(日本道

教学会『東方宗教』一二五号・二〇一五年五月)

坂出祥伸著『響きあう身体・「気」の自然観・冥想法・占術』(東

方書店『東方』四一四号・二〇一五年七月)

〈その他〉

『人物で見る東洋大学―東洋大学人物列伝』(井上円了ブック

レット) 11・二〇一五年三月)

『食料自給率』(『エコ・ファンタジー』春風社・前掲書)

〈講演・研究発表〉

『六朝道教と仏教』(六朝学術学会・於二松学舎大学・二〇一五

年六月)

『道教神像の出現』(日本タオイズム協会・福岡英彦山・

二〇一五年七月)

〈学会活動〉

所属学会・役職

日本中国学会(会員)、日本道教学会(理事)、日仏東洋学会

(会員)、『The Society for the Study of Chinese Religion(会員)

〈研究プロジェクト〉

東洋大学エコ・フィロソフィ学際研究イニシアティブ(機構長)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部：中国哲学演習ⅠA/B(Ⅰ部)

中国哲学特講ⅡA/B(Ⅰ・Ⅱ部)

中国哲学史A/B(Ⅰ・Ⅱ部)

東洋芸術文化特構ⅠB(Ⅰ部)

総合ⅠA/B(Ⅰ部)

東洋思想文化への誘いA/B(Ⅰ・Ⅱ部)各期2回担

当

前期「中国哲学入門―天の思想と人のあり方」

後期「道家思想入門―無と自然」

大学院：中国哲学特殊研究Ⅴ

中国哲学研究指導Ⅴ(以上後期課程)

中国哲学演習Ⅰ

中国哲学研究Ⅰ

中国哲学研究指導Ⅳ(以上前期課程)

○大学学部管理運営

大学院文学研究科長

○社会的活動

一般社団法人サステイナブル・サイエンス・コンソーシアム理

事

渡辺 章悟

○研究活動

〈著書〉

『般若経大全』共編著、春秋社、二〇一五年一月、全五一五頁。

〈論文〉

Possibility of View on Nature of Buddhism. *Proceedings of International Congress of Asian and North African Studies* (ICANAS 38), ULUSLARARASI ASYA VE KUZLEY AFRIKA ÇALISMALARI KONGRESI (10-15 EYLÜL 2007 ANKARA), 2015.1.6. pp.709-716, <http://www.ayk.gov.tr/baglanti/aricanas-38/>

「六国史に見る『般若心経』の受容と展開」『東洋思想文化』二号、東洋大学文学部東洋思想文化学科編、平成二七（二〇一五）三月、二一～三六頁。

〈学会発表〉

・研究発表

The 16<sup>th</sup> Congress of the International Sanskrit Studies, University Sripakorn Bangkok June 28-July 1, 2015. 参加「Some Questions Concerning the Title of the *Pratyakaramita-vidya* [“sitra”] とそのテーマで研究発表。

国際シンポジウム「東アジア仏教の形成と展開」（鶴見大学仏教学研究所、台湾仏光山大学仏教研究センター共催）鶴見大学会館メインホール、二〇一五年七月五日（菩薩と三乗）

というテーマで研究発表)

「初期大乘経典に於けるvikalpa批判―般若経を中心として」日本印度学仏教学会第六六回学術大会、パネルEのテーマ「煩惱の根源をめぐって―[vikalpa (分別)]とPrapañca (戯論)」における発表(榎本文雄・代表)、和歌山県・高野山大学、二〇一五年九月二〇日

〈特別講義〉

「般若経への誘い―空と悟りの智慧を読み解く」(大乘仏教経典講座：朝日カルチャー横浜) 二〇一五年一〇月二九日、ルミネ横浜八階

〈講演〉

「大乘仏教の菩薩とは」(東京国際仏教塾、東京大学仏書会館、二〇一五年五月三〇日)

「死後に(ソナエ)る十三仏信仰―終活という視点から見る十三仏信仰―」第二回愛宕薬師フォーラム(智山教化センター、智山伝法院、二〇一五年九月一〇日)

「般若経入門」黄檗勉強会、二〇一五年一〇月六日、墨田区黄檗宗弘福寺

シンポジウム「第二回・精神性に於ける瞑想の効果」の企画、司会(「国際哲学研究センター主催」二〇一五年一〇月三日)

〈その他〉

書評：「田中公明著『般若学入門―チベットに伝わる現觀莊嚴論の教え』」『東方』第三〇号、中村元東方研究所、二〇一五

年三月、二二二～二二三頁

「大乘仏教の菩薩とは」『佛教文化』第一七六号、二〇一五年八月一〇日、二～七頁

「東洋大学における東洋哲学の伝統と現在」（研究室便り）『東方学会報』No.1〇九、二〇一五年二月、二一～二三頁

〈学会活動〉

・所属学会ならびに役職

日本印度学仏教学会（理事・評議員・企画編集委員）／仏教思想学会（理事・評議員）／日本西蔵学会（委員）／（般財）

東方学会（地区委員・会員）／日本宗教学会（評議員）／日本佛教学会（会員）／（公財）東方研究会（兼任研究員）／

東アジア仏教学会（会員）／国際仏教学会IBS（会員）  
・学会参加等

比較思想学会第四二回学術大会に参加、東洋大学白山校舎五号館、二〇一五年六月二二～二三日（研究発表の司会）

仏教思想学会第三一回学術大会、筑波大学、二〇一五年七月十一日（理事会・研究発表会（司会））に参加

日本印度学仏教学会第六六回学術大会に参加、パネル発表、高野山大学、二〇一五年九月十九日～二十日（理事として理事会にも参加）

〈調査活動〉

「井上円了の足跡の調査」五島市・福江町、井上円了研究セン

ターの出張、二〇一五年十一月三日～五日

〈研究プロジェクトへの参加〉

「般若経の教理・儀礼・実践の総合的研究」（東洋大学東洋学研究所プロジェクト、研究代表者）

「八千頌般若」のデータベースと言語索引の構築」（科学研究費助成（基盤研究C）研究代表者）

東洋大学国際哲学研究センター（センター長・村上勝三「東洋大学」第三ユニット「課題・多文化共生社会の思想基盤研究」に所属し、仏教を中心とした多文化・多宗教共生の研究を行う。副センター長。

東洋大学東洋学研究所プロジェクト「仏教思想に見る日本・中国・韓国の共通性と差異」研究代表者伊吹敦、研究分担者

東洋大学東洋学研究所プロジェクト「世界の諸地域における仏教の哲学的社会学的研究」研究代表者伊吹敦、研究分担者

「パウダーコーシャ・仏教用語の『日英基準訳語集』構築に向けての総合的研究」（文科省科学研究費「基盤研究（A）」、研究代表者・斎藤明「東京大学」、研究分担者）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部：ブツダの思想とその展開A・B（I・II部）

大乘仏教の思想I（II部）

インド学仏教学演習④（I部）

インド学仏教学演習（II部）

文学部総合科目Ⅰ（Ⅰ・Ⅱ部共通）

・ 東洋思想文化への誘いA（Ⅰ部・Ⅱ部、春学期）二  
回担当

「大乘仏教入門―大乘仏教はブツダの説なのか―」（二〇一五年六月三日、一時限）／五月三〇日、七時  
限）

・ 東洋思想文化への誘いB（Ⅰ部・Ⅱ部、秋学期）二  
回担当

「大乘仏教入門―大乘仏教を貫くもの―」（二〇一五年六月一〇日、一時限）／二〇一五年六月十三日、七時  
限）

・ 宗教をめぐる諸問題A・B（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）二  
回担当

「大乘仏教とは何か」（五月二日、六時限）

「大乘仏教における聖者」（五月九日、六時限）

・ 総合ⅧA・B（校友会寄附講座、Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）  
運営責任者ならびに六回の授業担当

「井上円了の生涯をかけた熱き戦い―最後の著作『奮闘哲学』による―」（二〇一五年一月一七日、五時限）

「講座のまとめ・平常試験」（二〇一五年一月二二日、五時限）

「井上円了は何を目指し、何を実現しようとしたか―その生涯と実践―」（四月十一日、五時限）

「井上円了が受けたカルチャーショック―円了は海外

で何を見、何を考えたのか―」（五月三〇日、五時限）  
「春学期講義のまとめ・通常試験」（七月二十四日、五時  
限）

「哲学館から東洋大学へ」（九月二十六日、五時限）

大学院・大乘仏教研究Ⅰ・仏教学研究指導Ⅰ（博士前期課程）

仏教学特殊研究Ⅰ・仏教学研究指導Ⅰ（博士後期課程）  
学位論文審査

「井上円了の研究」三浦節夫（博士「乙」論文）主査

「長阿含註の研究」越後屋正行（博士「甲」論文）主査

〈学外担当科目〉

大正大学大学院「MD仏教学特論A・B」春学期・秋学期

国際仏教学大学院大学「仏教学と生命倫理」春学期、「仏教学

と環境問題」秋学期

○ 大学管理運営活動

東洋大学東洋学研究所（運営委員・研究所員）／東洋大学国際

哲学研究センター副センター長／大学院文学研究科インド哲

学仏教学専攻長

○ 社会的活動

（公財）仏教伝道協会・英訳大蔵経編集委員会（委員）・仏教聖

典編集委員会（委員）・助成金審査委員会（委員）／（特財）大

法輪石原育英会奨学生選考委員会（委員）／（公財）中村元

東洋思想文化賞審査委員会（審査員）／東洋大学仏教会（会長）

## 二〇一五年度開講科目

・授業名、サブタイトル、担当者の順に記す。

・通年科目はA（春学期）・B（秋学期）に分かれるが、担当者が同一であり、かつ、サブタイトルが春秋通じて同一の場合、その区分は省略して記した。

・ただし、半期のみ授業については《春》《秋》と表記した。

・担当者および《春》《秋》の授業区分に付したカッコ内の数字は、それぞれⅠ部・Ⅱ部の区別を示す。カッコが付されていないものは、Ⅰ部Ⅱ部隔年開講の科目か、Ⅰ部・Ⅱ部の担当者が同一であることを示す。

### 〈学部〉（五十音順）

#### 東洋思想文化学科

イスラーム概論《秋》（イスラームの捉え方）

柴山 滋

インド現代思想《春》（インド近・現代の宗教思想家）

宮本久義（Ⅱ）

インド古典思想概論A（インド古典哲学概説）

沼田一郎

インド古典思想概論B（インド古典哲学の諸課題）

沼田一郎

インド思想史A（ヴェーダの宗教と反ヴェーダ的自由思想）

橋本泰元

インド思想史B（反ヴェーダ的自由思想とヒンドゥー教諸思想

の展開）

橋本泰元

インド思想史A（インド思想と宗教の潮流を概観する）

宮本久義

インド思想史B（インド思想史）

宮本久義

インド思想特講ⅠA（古代インド社会の構造と法）概念の展開

沼田一郎（Ⅰ）

インド思想特講ⅡA（インドの歴史と文化）

石川寛（Ⅱ）

インド思想特講ⅠB（インドの歴史と文化）

石川寛（Ⅱ）

インド思想特講ⅡB（インドの叡智を探る）

宮本久義（Ⅰ）

インド思想特講ⅢA（インドの芸能と社会）

古賀万由里（Ⅰ）

インド思想特講ⅢB（インド神話を知る）

宮本城（Ⅰ）

インド仏教史A（釈尊の覚りとその展開）

岩井昌悟

インド仏教史B（大乘仏教とは何か）

岩井昌悟

インド・仏教の美術A（仏教の仏と神々の図像学的考察）

山口しのぶ（Ⅰ）

インド・仏教の美術B（インド・ネパール・東南アジアのヒンドゥー美術）

山口しのぶ（Ⅰ）

インド・仏教の美術A B

朴 亨國（Ⅱ）

インド舞踊《秋》（インド舞踊・バラタナティヤムの実技と理論）

久保田幸代（Ⅱ）

インド文化概論A（いまも語られる叙事詩と民話の世界）

村山和之

インド文化概論B《春》（文学を通して見るインド文化）



宮本 城 (I)

心に)

伊藤 聡

インド文化概論B《秋》(ヴェンディヤ山脈の頂きからインド

文学を見る)

高橋孝信 (II)

海外文化研修《秋》(現地へ赴いて文化と歴史の実際を体験し

よう)

伊吹 敦

韓国語A

佐藤 厚 (I)

韓国語B

佐藤 厚 (II)

韓国仏教史《秋》

佐藤 厚 (II)

韓国文化事情AB (韓国語を学び、韓国文化を知ろう)

金 蘭美

漢文訓読法《秋》

川崎ミチコ (II)

漢文訓読法2《春》(漢文法の基礎知識)

坂井多穂子 (I)

基礎中国語AB①(初めて中国語を学ぶ人のための授業。

簡単な日常会話と基礎的な文法表現について)

坂井多穂子 (I)

基礎中国語A②(中国語初級会話入門)

吉田雅子 (I)

基礎中国語B②(中国語初級会話)

吉田雅子 (I)

キリスト教概論《春》(キリスト教の誕生とその背景を思想的・

歴史的にたどりながら、キリスト教の特徴を学ぶ。)

山中利美 (I)

近世日本思想A (日本近世の宗教と思想 (十六・十七世紀を中

心に)

伊藤 聡

近世日本思想B (日本近世の宗教と思想 (十八・十九世紀を中

近代化と東洋《秋》(東洋は近代化をどのように受け止めたか)

(オムニバス形式)

水谷香奈

現代に生きる仏教《春》(現代の社会問題に関わる「Engaged

Buddhism」について、日本・アジア・米国などの事例から

戸松義晴 (I)

学ぶ)

現代のインド《秋》(インド近・現代の政治思想家)

宮本久義 (II)

サンスクリット語I AB (古典サンスクリット入門) 沼田一郎

サンスクリット語II AB (実践サンスクリット中級) 渡辺章悟

坐禅《春》(「いま」を見つめる)

写経《春》 石井清純

宗教学概論A (多様な教理と実践の世界) 張堂興昭

宗教学概論B (華麗なる文化と芸術の世界) 島田茂樹

宗教社会学A (「宗教」の社会性と個人性) 富澤かな

宗教社会学B (インドの社会と宗教とその理解) 富澤かな

宗教をめぐる諸問題AB (仏教など諸宗教における聖者とは)

(オムニバス形式)

岩井昌悟

書道史A (中国書道史(書体の変遷史)) 大橋修一

書道史B (中国書道史(書風の変遷)と日本書道史) 大橋修一

書論A (中国書論および日本の書論への理解) 大橋修一

書論B (中国書論・日本の書論の特徴を知る) 大橋修一

神道史A (神仏習合思想の形成と展開(古代)) 伊藤 聡 (II)

- 神道史 B (神仏習合思想の形成と展開 (中世)) 伊藤 聡 (II)
- 総合 I A I B ① (東洋と西洋の共生論) (オムニバス形式) 山田利明 (I)
- 総合 III B (東洋大学井上円了哲学塾―哲学実践講座―) (オムニバス形式) 河地 修  
山口しのぶ
- 総合Ⅳ A ① (日本の近代化と東洋大学  
―井上円了の哲学と実践―) (オムニバス形式) 渡辺章悟  
チベット語 A (古典チベット語文法) 山口しのぶ  
チベット語 B (『法華経音門品 (観音経)』を読む) 山口しのぶ  
チベット仏教史《春》 山口しのぶ
- 中国学概論 A B (中国学の〈可能性〉) 小路口聡 (I)  
中国学研究法 A B (中国学の基礎知識を学ぶ) 坂井多穂子  
中国現代文学史 A (中国二〇世紀文学の歩み) 馬 雪峰  
中国現代文学史 B (中国二〇世紀文学の歩み) 田中路子  
中国語Ⅳ A B 田中路子 (I)  
中国語Ⅴ A B (中国語の作文) 阿部順子 (I)  
中国語Ⅵ A B (中国について多面的な理解を深め、読解力を身につけよう。) 杉江叔子 (II)  
中国語Ⅶ A B (自然な中国語会話) 田中路子 (I)  
中国語Ⅷ A B (中級中国語) 馬 雪峰 (I)  
中国語学演習 A B (名言と笑話で覚える中国語) 杉江叔子 (II)
- 中国史概説 A (中国古代・中世の政治と社会) 馬 雪峰 (I)  
中国史概説 B (中国近世・近代の政治と社会) 竹内洋介  
中国哲学講読 A B ① (『莊子』の研究) 山田利明  
中国哲学講読 A B ② (『天道溯源』講読) 中村 聡  
中国哲学史 A B 山田利明 (I)  
中国哲学特講 I A B (宋明儒学思想概論) 小路口聡  
中国哲学特講 II A B ① (仙人伝の研究) 山田利明 (I)  
中国哲学特講 II A ② (宋学概説 (北宋)) 山田利明 (I)  
中国哲学特講 II B ② (宋学概説 (南宋)) 辻井義輝 (I)  
中国の美術 A (先史〜南北朝時代の中国美術) 萩原 哉 (I)  
中国の美術 B (隋唐〜明清時代の中国美術) 萩原 哉 (I)  
中国の美術 A B (中国の仏教・道教を中心とした宗教美術史) 田中知佐子 (II)  
中国仏教史 A (初伝期から南北朝まで) 伊吹 敦  
中国仏教史 B (隋代から現代まで) 伊吹 敦  
中国文化史 A B (中国思想文化―入門と手ほどき―) 播本崇史  
中国文学講読 A B (『敦煌文獻』を読む) 川崎ミチコ  
中国文学講読 A B ② (杜甫を読む) 坂井多穂子  
中国文学特講 I A B (台湾の文化・文学と歴史を学ぶ) 坂井多穂子  
中国文学特講 II A B (宋代の文学作品を読む―詩を中心に―) 野間信幸  
坂井多穂子 (I)

中国文学特講ⅡA B ① (敦煌文献概説) 川崎ミチコ (Ⅰ)

中国文学史 A (前史と宋代の文学) 野間信幸

中国文学史 B (元から清まで) 野間信幸

中国文学文化と日本 A B (文化の受容とアイデンティティ) 有澤晶子

中国文献学 A B 川崎ミチコ (Ⅰ)

中国文学文化と日本 A B (日本文化に中国があり、中国文化に

日本がある。両国が学び合い、影響し合った深い関係を文学文化の角度から考える。) 唐 亜明 (Ⅱ)

中国文字学 A B 坂本頼之

哲学概説 A (自分の頭で考えて、自分の言葉で伝えるということ) 渡邊郁子 (Ⅱ)

哲学概説 B (自分の頭で考えて、主体的に行動するということ) 渡邊郁子 (Ⅱ)

東西交渉文化史 A (前近代中央ユーラシアの歴史と文化) 青木雅浩

東西交渉文化史 B (二〇世紀の中央ユーラシア) 青木雅浩

東南アジア仏教史《春》(スリランカ及び東南アジア諸国における上座仏教の国家的受容とその変遷過程の理解、また主要

経典と基本的仏教用語の把握) 敷内聡子

東洋芸術文化特講Ⅰ A (インド映画論) 宮本久義 (Ⅰ)

東洋芸術文化特講Ⅰ B (中国絵画の思想) 山田利明 (Ⅰ)

東洋芸術文化特講Ⅱ A (南アジアの宗教思想と音楽文化)

東洋芸術文化特講Ⅱ B (バリ島の芸能から人間の創造性を学ぶ) 田森雅一 (Ⅱ)

東洋芸術文化特講Ⅳ A (ポロブドゥールの回廊の浮彫の絵解き) 山本早良紗 (Ⅱ)

東洋芸術文化特講Ⅳ B (アジア宗教における儀礼と図像の解釈) 岩井昌悟 (Ⅰ)

東洋思想文化演習ⅠⅡ① (インド思想・文化の研究) 山口しのぶ (Ⅰ)

東洋思想文化演習ⅠⅡ② (インド古代社会・文化史の諸問題) 沼田一郎 (Ⅰ)

東洋思想文化演習ⅠⅡ③ (インド大乘仏教の研究) 橋本泰元 (Ⅰ)

東洋思想文化演習ⅠⅡ④ (初期仏教研究) 渡辺章悟 (Ⅰ)

東洋思想文化演習Ⅰ④⑩ (漢詩の分析と鑑賞) 岩井昌悟 (Ⅰ)

東洋思想文化演習ⅠⅡ⑥ (禪文献を読む) 野間信幸

東洋思想文化演習ⅠⅡ⑦ (アジア芸術文化研究) 伊吹 敦 (Ⅰ)

東洋思想文化演習Ⅰ⑨ (朱熹『論語集注』を読む) 山口しのぶ (Ⅰ)

東洋思想文化演習Ⅱ② (ヒンドゥー教の思想・文化研究Ⅲ) 小路口聡 (Ⅰ)

東洋思想文化演習Ⅱ④ (『論語』を読む) 橋本泰元 (Ⅰ)

東洋思想文化演習Ⅱ④ (『論語』を読む) 山田利明 (Ⅱ)

東洋思想文化演習Ⅱ⑨（程頤『周易程氏伝』・朱熹『周易本義』を読む） 辻井義輝（Ⅰ）

東洋思想文化演習Ⅱ⑩（中国の笑話を読む） 坂井多穂子（Ⅰ）

東洋思想文化演習Ⅱ⑪（インド思想・文化の研究） 岩井昌悟（Ⅱ）

東洋思想文化演習Ⅱ⑫（東アジア仏教の研究） 水谷香奈（Ⅱ）

東洋思想文化演習Ⅱ⑬（アジア芸術文化研究） 山口しのぶ（Ⅱ）

東洋思想文化への誘い A B 小路口聡（Ⅰ代表）

東洋思想文化への誘い A B 沼田一郎（Ⅱ代表）

東洋の身体論《春》（このところからだをどう見るか）（オムニバス形式） 水谷香奈（Ⅱ）

日本漢学 A B（日本では漢学を如何に学んで来たのか） 坂本頼之

日本の宗教を歩く《春集》（思想と文化を体感しよう！） 沼田一郎

日本の美術 A B（日本美術の現在、過去、未来） 藤澤 紫

日本仏教史 A（日本仏教史（飛鳥時代～鎌倉時代）） 水谷香奈

日本仏教史 B（日本仏教史（鎌倉時代～現代）） 水谷香奈

日本仏教史 A（日本における仏教のあゆみと社会・文化） 橋本泰元

日本仏教史 B（日本における仏教のあゆみと社会・文化） 橋本泰元

―鎌倉仏教（後半）から明治時代以後の仏教まで―

―バリー語 A B（聖典に直に触れる）

比較宗教 A

比較宗教 B

ヒンディー語 A（ヒンディー語入門Ⅰ）

ヒンディー語 B（ヒンディー語入門Ⅱ）

ヒンドゥー教概論 A B（ヒンドゥー教の思想を学ぶ） 橋本泰元

仏教漢文 A（仏教漢文の基礎） 伊吹 敦（Ⅰ）

仏教漢文 B（経典注釈・浄土教文獻・禅文獻を読む） 伊吹 敦（Ⅰ）

仏教思想概論 A（―仏教とは何か―） 渡辺章悟

仏教思想概論 B（仏教の思想とその展開） 渡辺章悟

仏教思想特講Ⅰ A（空の世界に何があるのか） 金本拓士（Ⅰ）

仏教思想特講Ⅰ B（華嚴の思想） 金本拓士（Ⅰ）

仏教思想特講Ⅱ A（禅思想の形成と社会との交渉） 伊吹 敦（Ⅱ）

仏教思想特講Ⅱ B（密教の思想） 金本拓士（Ⅰ）

仏教と社会福祉《秋》（現代社会における仏教福祉の意義と課題） 戸松義晴（Ⅰ）

仏教の芸能《秋》（仏教伝統歌謡の基本を学び実修してみよう） 橋本泰元（Ⅰ）

（オムニバス形式）

ヨーガ《春》（実践をとおして思想を学ぶ） 番場裕之

レポート・論文制作の技法《春》(大学における研究とは)

渡辺章悟 (I)

レポート・論文制作の技法《春》(論理的なものの考え方と論理的な文章表現を見つかけよう)

川崎ミチコ (II)

レポート・論文制作の技法②《春》(大学における研究とは)

岩井昌悟 (I)

レポート・論文制作の技法③《春》

山田利明 (I)

レポート・論文制作の技法④《春》

小路口聡 (I)

### インド哲学科開講科目

宗教科教育論《春》(仏教と教育について)

成瀬良徳

宗教科指導法ⅠⅡ(「宗教科」の教育と指導)

成瀬良徳

初期仏教の思想《春》(すべては解脱のために)

岩井昌悟 (II)

大乘仏教の思想Ⅱ(唯識の世界)

水谷香奈 (II)

天台の思想《秋》

伊吹 敦 (II)

念仏の思想《秋》(念仏思想の形成・展開とその影響)

水谷香奈 (II)

### 中国哲学文学科開講科目

中国哲学演習Ⅱ(程頤「周易程氏伝」・朱熹「周易本義」を読む)

辻井義輝

中国哲学研究法(中国古代における哲学概念の生成とその歴史)

——「性理字義」に沿って

小路口聡

中国哲学特講Ⅱ②(宋学概説)

辻井義輝 (I)

中国文学演習Ⅱ(中国の笑話を読む)

坂井多穂子

中国文学演習Ⅲ①(「敦煌文献」を読む)

川崎ミチコ

中国文学研究法(中国文学の基礎知識)

野間信幸

中国文献読解法(「中国」についての「基礎知識」を身につけよう!)

川崎ミチコ

### 〈大学院〉

#### インド哲学仏教学専攻

##### 博士前期課程

インド哲学研究ⅠA B・インド哲学研究指導ⅡA B

沼田一郎

インド哲学研究ⅡA B・インド哲学研究指導ⅢA B

橋本泰元

インド哲学研究ⅢA B

高橋孝信

インド哲学研究ⅣA B・インド哲学研究指導ⅠA B

宮本久義

インド哲学仏教学特殊演習A B

伊藤 真

インド仏教研究ⅠA B・仏教学研究指導ⅢA B

岩井昌悟

インド仏教研究ⅡA B

松村淳子

インド仏教研究ⅢA B・仏教学研究指導ⅠA B

渡辺章悟

インド仏教研究ⅣA B・仏教学研究指導ⅡA B

山口しのぶ

インド仏教研究ⅤA B

斎藤 明

東アジア仏教研究ⅠA B・仏教学研究指導ⅣA B

伊吹 敦

東アジア仏教研究ⅡA B

蓑輪顕量

東アジア仏教研究ⅢA B

林田康順

博士後期課程

インド哲学研究指導ⅠＡＢ・インド哲学特殊研究ⅠＡＢ

宮本久義

インド哲学研究指導ⅡＡＢ・インド哲学特殊研究ⅡＡＢ

橋本泰元

インド哲学研究指導ⅢＡＢ・インド哲学特殊研究ⅢＡＢ

沼田一郎

仏教学研究指導ⅠＡＢ・仏教学特殊研究ⅠＡＢ

渡辺章悟

仏教学研究指導ⅡＡＢ・仏教学特殊研究ⅡＡＢ

山口しのぶ

仏教学研究指導ⅢＡＢ・仏教学特殊研究ⅢＡＢ

岩井昌悟

仏教学研究指導ⅣＡＢ・仏教学特殊研究ⅣＡＢ

伊吹 敦

中国哲学専攻  
博士前期課程

中国哲学演習ⅠＡＢ・中国哲学研究指導Ⅳ

山田利明

中国哲学演習ⅡＡＢ・中国哲学研究指導Ⅲ

小路口聡

中国哲学研究ⅠＡＢ

山田利明

中国哲学特論ⅢＡＢ

小路口聡

中国文学演習ⅠＡＢ・中国哲学研究指導Ⅰ

有澤晶子

中国文学演習ⅡＡＢ

竹下悦子

中国文学特論ⅠＡＢ・中国哲学研究指導Ⅱ

野間信幸

中国文学特論ⅡＡＢ・中国哲学研究指導Ⅰ

坂井多穂子

中国語学研究ⅠＡＢ

野間信幸

中国語学研究ⅡＡＢ

坂井多穂子

博士後期課程

中国哲学特殊研究ⅠＡＢ・中国哲学研究指導Ⅰ

野間信幸

中国哲学特殊研究ⅡＡＢ

有澤晶子

中国哲学特殊研究ⅢＡＢ・中国哲学研究指導Ⅲ

小路口聡

中国哲学特殊研究ⅣＡＢ

坂井多穂子

中国哲学特殊研究ⅤＡＢ・中国哲学研究指導Ⅴ

山田利明

## 二〇一五年度卒業論文

### インド哲学科卒業論文

#### 〈I部〉

- 網代陽太 「インド美術の歴史と変遷について」  
新井秀平 「インドの伝統音楽と宗教について」  
安藤恵莉花 「日本における地蔵菩薩の信仰」  
飯島千恵 「親鸞の聖徳太子観」  
磯貝混一 「ニヤヤ学派の成立と変遷」  
海老澤直城 「井上円了の護国愛理の思想について」  
大塚綾乃 「供養について」  
小川美波 「ヒンディー文学と民衆文化の研究―口承文学の起源と伝統―」  
カムピラー アイラダー 「パリ仏教における『正見』―『正見経』と『大四十経』を中心として―」  
木下美紀 「茶道における宗教―禅と茶―」  
小林弘人 「日本における西洋音楽文化の受容とその変容―ビートルズに見られるインド的要素を手掛かりとして―」  
是松宏明 「中世ジャイナ教空衣派の新興勢力ターラン派と開祖ターラン・スヴァーミー」
- 齊藤敦彦 「政教分離国家における宗教の扱いについて―歴史教科書を中心に―」  
齋藤真里 「観音菩薩像における松本の観音信仰の歴史」  
佐藤利也 「仏教における脳死と臓器移植の是非」  
佐藤麻亜弥 「六派哲学について」  
鈴木なつみ 「インドにおける女性問題とそれを支援するNGO団体の取り組みについて」  
高木洋介 「三昧の構造としての対象―般舟三昧経」と『清浄道論』の三昧の異同を通して―」  
田所楓 「ウパニシャッドにおける睡眠観」  
田中菜々子 「ダンテ『神曲』と源信『往生要集』における地獄の比較」  
玉置駿 「現代において仏教に向けられる新たな視点」  
塚田将史 「ビハラと臨終行儀にみる死の受容」  
遠山良奈 「インド宗教史上における肉食」  
仲修平 「インドのカースト制度と女性問題の歴史」  
中沢史生 「ルドラシヴァより見るバラモン教からヒンドゥー教への変遷と背景」  
並木史葉 「イスラーム神秘主義スーフィズムと『バガヴァッド・ギーター』におけるバクティ思想の比較」  
西島実希 「クリシュナ信仰と細密画」  
西原ひかり 「インドにおけるジェンダー―女性を苦しめる伝統と現代のインド―」

平原伸一 「シヤンカラの一元論思想についての考察」

平山友紀 「鬼来迎からみる民間信仰における鬼について」

藤井蓮 「仏教の女性観―原始仏教から現代日本仏教まで―」

藤森進 「『カーマンダキーヤ・ニーテイサーラ』第三章（第6項目）の翻訳」

ペンジャム プラプラディット 「パリー文献によるメッテツヤ仏の研究」

保谷直毅 「神の発生と零落―妖怪とは何か―」

前澤里緒 「文化の中から伺えるチベット仏教の信仰―チベット、シヨトゥン祭を中心として―」

松原卓也 「死生観の違い」

丸井祐依 「現代インドにおけるカーストから見る職業と女性問題」

村木由季 「芸能と人々の関係について―バーガヴァタ・メーラとティヤムの比較より―」

山口麻衣 「南インドと北インドにおける舞踏の比較―カタカリ・カタックを中心に―」

吉栖花織 「笑いの対象としての僧」

吉田葵 「カタール・サリット・サーガラにおけるヴェーターラの考察」

阿部尚平 「無為法の研究―特に択滅法・非択滅法について

奥岡新蔵 「見解の見解―初期仏教形而上学と大乘仏教思想―」

勝田響子 「仏教と看護の研究―臨終行儀を中心に―」

川口耕平 「仏教伝来552年説と538年説について」

小檜山夏美 「チベット密教から見たオウム真理教」

鈴木高浩 「ヒンドゥー教寺院の壁面装飾について―カジュラーホのミトゥナ像―」

平野玲子 「ハタ・ヨーガにおけるアーサナ―主要4文献と現代の実践を比較する―」

星宮康子 「古代インドにおける寿命の考え方と治療の動機づけに関する一考察―Arjisaの観察と難治性・不知の疾患への対応―」

宮内麻衣 「江戸時代の仏教と民間信仰」

村田薫 「現代社会の諸問題と仏教の役割」

中国哲学文学科卒業論文

竹内優里亜 「中国古代における本性という議論」

和尾美蓮 「陽明学と現代のわたしたち」

吹野恵美 「程明道の渾一的視座―現代政治へどう活かすか―」

豊田尚徳 「康有為における「三綱」―「君子・父子・夫婦」の定義の変更―」



川原海斗 「王莽と光武帝劉秀両者における緯書の役割と比較」

小澤一将 「論語」に学ぶ道徳教育の在り方」

齋藤優衣 「荀子」における「学び」とは」

重光鐘太 「孔子の理想」

高木睦月 「子不語」の中から、妖怪、鬼の存在について」

酒井萌 「道教の死生観」

鈴木千鶴 「水墨画の発生と展開」

佐藤芹奈 「列女伝」に見る理想的な女性像」

亀山凌太 「王莽—思想的基盤とその形成—」

千徳ゆう 「孫子の思想と現代における話題性について—テロリズムと孫子—」

川戸歌純 「日本統治により台湾にもたらしたものの—大家族の影響を「陳夫人」から探る—」

持田涼子 「日本統治期の台湾文学について—張文環「山茶花」から見えること—」

鷺尾李加 「呐喊論」

須田健太郎 「鄭成功の実像について」

椎名美月 「聊齋志異」における男狐との友情」

甲州智哉 「周金波—日本語作品から見る理想—」

鈴木駿太 「植民地台湾」での日本人の功績」

長澤美佳 「魯迅の日本観に関する一考察—『藤野先生』を中心として—」

野村崇人 「日本統治期の台湾文学—周金波「志願兵」—」

南口俊 「濱田隼雄「南方移民村」における日本人」

稲木彩乃 「魯冰花」から見る台湾茶業—茶農家と貧困—」

森田達弥 「7世紀から8世紀半ばまでの日唐関係」について—唐の太宗期から玄宗期までを中心として—」

中山真緒 「剪燈新話」と「牡丹燈記」の比較による幽霊の特徴—」

三浦楓 「唐代伝奇における不老不死 柳毅と杜子春」

小出菜生 「日本留学を経験した周兄弟の日本文学の関わりについて」

石川美恵 「蘇軾の白居易観について—「我似樂天」の奥深くにあるもの—」

飯野那摘 「楊貴妃の描かれ方の違いとその背景」

中越翼 「三国志演義における諸葛亮孔明の人物像—失策を通して—」

飯野那摘 「三曹の楽府」

丸岡杏奈 「陶淵明から王維へ—桃花源の捉え方—」

大嶋彩琴 「怎得一箇の愁の字もて了し得ん—李清照の悲しみ—」

齋藤龍大 「国風・小雅に見る『詩集伝』における朱熹の思想の型」

大学院インド哲学仏教学専攻修士論文

崎山忠道 「楞伽經」の研究―諸本の構成と思想的特徴について―

鈴木伸幸 『Sikṣāsamuccaya』における制戒 (samvara) の授

受について―「布施波羅蜜という名前の第一章」を中心として―

田口なみ 「ヒンドゥー教建築論研究―「マーナサーラ」に

おける立地条件―

ブラマハ・バンジュット

『Uposathakkhandhaka』布薩健度の研究

―タイ上座仏教のsīmaを中心として―

大学院中国哲学専攻修士論文

佐藤郁佳 「『論語』と洪沢栄一の福祉思想」